



平成22年7月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	46,624,533 万円	100.0%	101.6%(100.9%)	44,650,302 万円	98.7%(97.7%)
食 料 品	38,234,330 万円	82.1%(82.2%)	102.0%(101.3%)	36,586,680 万円	99.0%(98.1%)
農 産	5,412,017 万円	11.6%(12.3%)	103.9%(101.8%)	5,195,451 万円	100.9%(98.7%)
水 産	3,908,845 万円	8.4%(8.2%)	99.2%(99.8%)	3,740,660 万円	96.3%(96.7%)
畜 産	4,174,241 万円	9.0%(9.0%)	99.9%(99.2%)	3,938,464 万円	96.5%(95.9%)
惣 菜	3,925,716 万円	8.4%(8.1%)	103.7%(102.5%)	3,757,656 万円	100.2%(99.2%)
日配食品	8,759,054 万円	18.8%(18.9%)	103.2%(102.4%)	8,396,311 万円	100.1%(99.0%)
加工食品	12,054,457 万円	25.9%(25.6%)	101.6%(101.1%)	11,558,138 万円	98.6%(98.0%)
生活関連	3,558,659 万円	7.6%(7.5%)	100.8%(99.5%)	3,421,839 万円	98.2%(97.2%)
衣 料 品	1,921,767 万円	4.1%(4.5%)	95.2%(96.0%)	1,849,765 万円	93.3%(94.6%)
そ の 他	2,909,777 万円	6.2%(5.9%)	101.8%(100.7%)	2,792,018 万円	99.3%(96.3%)

② 数 値

全店総売上高	46,624,533 万円	店 舗 数	4,037 店舗
総売場面積	7,612,439.4 m ²	総従業員数	215,974 人

店舗平均月商	11,549.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,797 円 (99.4%)
月間m ² 売上(前月)	6.1 万円 (6.0 万円)	平均店舗面積	1,885.7 m ²
月間坪売上(前月)	20.2 万円 (19.7 万円)	パート比率(前月)	75.8% (75.9%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 例年に比べ気温が高く、梅雨明け後も猛暑となり、盛夏商材・涼味商材を中心に動向が良かった
- ・ 既存店売上高の前年比が、6月・7月と上昇傾向にあり、低迷期から売上高の回復傾向が顕著になった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 梅雨明け以降、気温の高い日が続き、スイカが好調だった
- ・ 野菜は大雨の影響で葉物を中心に品薄、相場高で推移した
- ・ 天候不順の影響により出荷が遅れ、品薄状態が続き、桃、梨、プラム等の旬の果物が不調だった

○ 水産

- ・ 生いわしは豊漁で拡販しやすかったが、近海魚の主力である生さんま、真アジ、スルメイカは水揚げ不足、相場高で不振であった
- ・ うなぎは暑い日が続き、土用の丑の日以外でも国産・中国産ともに好調だった
- ・ しじみ、もづく、海藻類は好調だった

○ 畜産

- ・ 暑い日が続き、焼肉、バーベキュー商材の売上増が見込まれたが、不振だった
- ・ 豚冷しゃぶ用、鶏肉（もも肉、唐揚げ用）は好調だった
- ・ 地域により、口蹄疫の影響により牛肉が不振で、豚肉・鶏肉でカバーしきれず、全体でも低調だった

○ 惣菜

- ・梅雨明けより夏物メニューが好調に推移した。特に、弁当・寿司等の米飯類、中華メニューが牽引した
- ・猛暑が続き、おつまみ類の枝豆、やきとり、ギョウザが伸長した

○ 日配・加工食品

- ・例年に比べ暑く、梅雨明け後も猛暑が続き、飲料、乳酸飲料、アイス、ところてん、冷やし中華等が好調だった
- ・そうめん、冷麦を中心とした乾麺、麺つゆ類が好調だった
- ・梅雨明けから盛夏商材が一斉に動き出し、飲料、ビールなどが軒並み大きく伸長した

○ 「土用の丑の日」

- ・本年26日（月）の為、（昨年日曜日）との比較から多少の縮小を見込むが、梅雨明け後の猛暑も影響して好調だった
- ・当日は国産比率が圧倒的に高いが、中国産も年々売上が伸びており、安全性への不安が解消されつつある
- ・うな重も好調だった。予約販売、当日販売ともに前年を大きく上回った

○ 「猛暑」

- ・猛暑による熱中症対策として連日報道されたことから、水分・塩分補給に緑茶・スポーツドリンク、塩あめがとても好調だった
- ・アイスは、過去2年の冷夏から今年は猛暑となり好調だった。前半はクリーム系のアイス、梅雨明け後は氷系アイスが大きく伸び、アイス全体でも大幅に伸長した
- ・反対に6月まで好調だった佃煮、納豆、玉子、揚物等のご飯関連やホット商材は軒並み不調となった

○ 「 サマーギフト 」

- ・ 飲料・そうめん・ビールギフトの動向が良く、調味料、乾物関連の動向が不調であった
- ・ 生肉ギフト苦戦するの中、ハムギフトは好調であった
- ・ 割引率の高い商品の動向が良く、2,000円～3,000円の価格帯が中心に売れ、単価が上がらずに苦戦した
- ・ 参議院選挙までの動向が鈍かったが、選挙後の動向は好調に推移した